

# 上菅田地区まちづくり協議会・活動計画書

(2023年～2029年 [令和5～10年度])

## [活動方針]

上菅田地区まちづくり協議会は、安全・安心をベースに、会員相互が協力し、子どもから大人まで、全ての住民が快適な生活ができる町を創造することを目標に「住んで安心、暮らして安全、生き生き暮らす上菅田」をスローガンに掲げ、まちづくりプランを策定しました。

引き続き上菅田まちづくり協議会が主体となり、連合自治会をはじめ関係協力団体や周辺の大規模団地、事業者等の連携・協力を図りながら、まちづくりプランの実現に向けて取り組んでいきます。

## [活動内容]

	「住んで安心、暮らして安全、生き生き暮らす、上菅田」まちづくりプランの実践	
令和	<p>(1) 歩行者空間の安全性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■県道109号青砥上星川                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道拡幅に向けた関係者との話し合いを進め、土木事務所との情報交換を行い、引き続き関係機関との話し合いを持ちながら部分的なものを含めて改善できるように活動をしていく。</li> </ul> </li> <li>■スクールゾーン変更に伴い、通学路の安全を見守り、危険個所の点検整備を行い引き続き、上菅田笹の丘小学校スクールゾーン対策協議会と協議・協働を推進していく。</li> <li>■笹山団地建替えに伴う上菅田地区まちづくり協議会の要望と関連した歩行空間の安全性をはかっていく。</li> </ul>	
5年度		
6年度		
7年度		
8年度		
9年度		
10年度		<p>(2) 交通部会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■事業者による送迎サービスのルート変更や増設に関する話し合いを実施</li> <li>■公共交通機関との話し合いを実施</li> <li>■交通部会定例会を踏まえ、上菅田地区まちづくり協議会に意見を反映し横浜市地域交通サポート事業、タクシーを活用した取り組み推進していく。</li> </ul> <p>(3) 緑・環境分科会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■横浜みどりアップ計画（民有地緑化事業）に基づきEブロック（沿道面プランター花の植栽）を推進していき、実施済の計画地の維持管理を行う。</li> <li>■水辺の整備・まちなみ美化・緑環境の保全と活用を継続活動していく。</li> </ul>

# 上菅田地区まちづくり協議会・活動計画書

(2023年～2029年 [令和5～10年度])

## 〔活動方針〕

上菅田地区まちづくり協議会は、安全・安心をベースに、会員相互が協力し、子どもから大人まで、全ての住民が快適な生活ができる町を創造することを目標に「住んで安心、暮らして安全、生き生き暮らす上菅田」をスローガンに掲げ、まちづくりプランを策定しました。

引き続き上菅田まちづくり協議会が主体となり、連合自治会をはじめ関係協力団体や周辺の大規模団地、事業者等の連携・協力を図りながら、まちづくりプランの実現に向けて取り組んでいきます。

## 〔活動内容〕

	「住んで安心、暮らして安全、生き生き暮らす、上菅田」まちづくりプランの実践	
令和 5年度	(1) 歩行者空間の安全性の向上 ■県道109号青砥上星川 ・歩道拡幅に向けた関係者との話し合いを進め、土木事務所との情報交換を行い、引き続き関係機関との話し合いを持ちながら部分的なものを含めて改善できるように活動をしていく。	
6年度		
7年度		■スクールゾーン変更に伴い、通学路の安全を見守り、危険個所の点検整備を行い引き続き、上菅田笹の丘小学校スクールゾーン対策協議会と協議・協働を推進していく。
8年度		■笹山団地建替えに伴う上菅田地区まちづくり協議会の要望と関連した歩行空間の安全性をはかっていく。
9年度		
10年度	(2) 交通部会 ■事業者による送迎サービスのルート変更や増設に関する話し合いを実施 ■公共交通機関との話し合いを実施 ■交通部会定例会を踏まえ、上菅田地区まちづくり協議会に意見を反映し横浜市地域交通サポート事業、タクシーを活用した取り組み推進していく。	
	(3) 緑・環境分科会 ■横浜みどりアップ計画（民有地緑化事業）に基づきEブロック（沿道面プランター花の植栽）を推進していき、実施済の計画地の維持管理を行う。 ■水辺の整備・まちなみ美化・緑環境の保全と活用を継続活動していく。	



# 令和5年度上菅田地区まちづくり協議会交通部会活動報告

上菅田地区まちづくり協議会 交通部会部会長 西河誠史

令和5年度は、ここ数年私たちの活動を大きく制限してきたコロナの5類への移行があり社会活動は元に戻ってきました。また、相鉄の新横浜線がついに接続され、西谷駅の利便性が大きく向上しました。このような状況下で、交通部会およびまちづくり協議会および笹山団地建替えに関する協議を神奈川県と開催し、地域交通の在り方を議論してきました。大きな活動内容としては以下の通りです。

## 横浜市営バスの運行状況について

令和三年度に開設された下記路線は現在のところ利用者も多く、利便性の向上は明らかですが、一方で248系統は採算性の面では課題を抱えていると思われます。

### 【新設路線】

- ・172系統「鴨居駅前」⇒「新井町」⇒「西谷駅前」⇒「笹山団地」⇒「竹山団地」⇒「鴨居駅前」
- ・248系統「千丸台団地・千丸台集会所」～「西谷駅前」～「笹山団地」
- ・256系統「鴨居駅前」⇒「竹山団地」⇒「笹山団地」⇒「西谷駅前」⇒「新井町」⇒「鴨居駅前」(緑営業所)

また、旭硝子研究所の跡地利用状況によりダイヤの変更や、羽沢・国大駅方面への新路線の開設などが今後の課題となります。

## 相鉄新横浜線の開業について

相鉄新横浜線が令和5年3月18日に開業となりました。これにより、新横浜方面への交通手段および通勤・通学・新幹線利用の利便性が大きく改善されています。ここ数年、新たな住宅の建設や既存住宅の建て替えも多く見かけられるようになり、上菅田の町の様子も徐々に様変わりしています。

西谷駅を拠点とした交通の利便性は大きく向上しているものの、依然として相鉄線のダイヤが頻繁に改正されている点についても地域で高齢者を多く抱えている私たちにとっては、わかりづらい点が多く、課題があると感じています。今後は、こうした鉄道路線の開設に伴う地域交通の需要の変化がまちづくりにとっても大きなポイントとなります。引き続き交通部会では横浜市・保土ヶ谷区と連携をとってさらなる交通手段の確保を目指していきます。

以上

## 上菅田地区まちづくり協議会・経過報告(令和6年4月～令和7年3月)

5月13日(月)令和6年度・上菅田地区まちづくり協議会・総会(上ク)

7月 8日(月)第31回上菅田地区まちづくり協議会(上ク)

29日(月)緑環境局(市民の森)との打ち合わせ(上ク)

8月29日(月)第32回上菅田地区まちづくり協議会(上ク)

11月11日(月)第33回上菅田地区まちづくり協議会(上ク)

12月23日(月)県庁訪問会議(県庁)

1月27日(月)第34回上菅田まちづくり協議会(上ク)

3月26日(水)県庁申し入れ(県庁)

5月10日(月)令和7年度・上菅田地区まちづくり協議会・総会(上ク)

---

## 令和6年度 道路歩行空間の安全性確保部会 活動報告

継続的な案件だが山崎の保育園前の道路改良は最終段階にきている。

寺下橋の交差点内の一部改良の件、進まない状態でしたが、その信号機の移転の問題が出た結果、全体の改良の検討になり7年度に報告がある。

その他スクールゾーンの安全性について又一般の生活道路の安全性についても注意を払ってきた。

## 令和6年度 緑・環境部会 活動報告

5月29日 緑部会(中央自治会館)

7月29日 「市民の森の管理について」概要説明会(上菅小コミハ)

9月4日 緑部会(中央自治会館)

10月1日 緑部会(中央自治会館)

10月3日 地主へ挨拶

10月20日 草刈り(しだれ桜の下 他)

11月17日 福祉健康まつり(上菅小)

12月1日 「上菅田町市民の森」近隣住民説明会(上菅田クラブ)

2月5日 「市民の森の愛護会活動等について」(上菅田クラブ)

## 令和6年度上菅田地区まちづくり協議会交通部会活動報告

上菅田地区まちづくり協議会 交通部会部会長 西河誠史

令和6年度は、笹山団地の建て替え計画に進展が見られ、本事業に伴う上菅田地区の活性化ならびに交通手段の改善について議論してきました。また、バス路線の整備については一定の成果が出ている中、相鉄新横浜線の開業に伴い住宅需要が活性化してきた影響もあり、西谷駅前のタクシー乗り場が閉鎖されるなど、新たな課題もできました。このような状況下で、交通部会およびまちづくり協議会および笹山団地建替えに関する協議を神奈川県と開催し、地域交通の在り方を議論してきました。大きな活動内容としては以下の通りです。

### 横浜市営バスの運行状況について

笹山団地中央～横浜駅までの92系統減便について、採算性の面から長距離のバス路線は順次縮小する、ということは従前からの横浜市の方針であり、今後の増便はむずかしいと思われまます。一方で、西谷駅を発車する笹山団地中央方面へのバス便は特に夕方において混雑している状況であり、当該系統開設の意義は大いにあったと考えております。

今後は、旭硝子研究所の跡地利用状況によりダイヤの変更や、羽沢・国大駅方面への新路線の開設や笹山団地縦化計画に伴うバスターミナルの整備などが課題となります。

### 西谷駅タクシー乗り場の閉鎖について

長年利用されてきた西谷駅タクシー乗り場が令和7年3月をもって閉鎖となりました。相鉄新横浜線の開業により、新横浜方面への交通手段および通勤・通学・新幹線利用の利便性が大きく改善されたことから、ここ数年、新たな住宅の建設や既存住宅の建て替えも多く見かけられるようになっており、本事業もこの影響を受けたものと考えております。

西谷駅を拠点とした交通の利便性は大きく向上しているものの、バスだけでは賄えきれない高齢の方や通院者の交通手段確保が大きな課題となっております。今後は、タクシー会社との現状の改善協議や、横浜市・保土ヶ谷区と連携による地域交通制度を利用した交通手段の確保を目指していきます。

以上

<ボランティアバスの取組み>

令和7年

5月 横浜市都市整備局地域交通推進課から上菅田地区で  
移動手段の不便さをボランティアで解消する提案を受ける

公共交通圏域の定義として、  
道路距離で鉄道駅800m、バス停300mの地域で  
勾配を含めて移動手段に空白が見える地域に、ボランティアバスを  
運行する。

ボランティアバス⇒地域の保有する車両を活用し、地域の人が  
ドライバーとなって運行する運行形態。

運行方法はルート運行、予約運行、組み合わせがあります。

6月 上菅田地区の住民を対象に「移動動向アンケート調査」を実施。  
年代別・移動先・移動目的・移動手段の項目で調査する。

「上菅田地区まちづくり協議会」の中に「ボランティアバス実行委員会」を  
設立して、月に1回のペースで横浜市ちいき交通推進課と協議を進める。

7月 運行エリア・運行車両・運行方法(曜日・時間・利用料など)取り決め

8月 事業計画を決め横浜市に事業計画承認申請書の提出  
運行に係る収支予算書の提出

9月 事業計画⇒運行はデマンド(予約)型にする  
運行地域⇒上菅田地区から病院・スーパー・駅とする  
運行期間⇒令和8年4月1日から令和9年3月31日とする  
運行車両⇒日産セレナ  
運行日⇒(月)(火)(水)(金)  
運行時間⇒10時から17時  
利用料⇒150円(1回)(一人)  
運行頻度⇒月20便以上  
運行者⇒上菅田地区まちづくり協議会

10月 車両の所有者のする為、一般社団法人 上菅田地区まちづくり協議会  
横浜市と協定書を結ぶ

11月 福祉健康まつりで車両のネーミングを募集し50数点の応募の中から  
「上菅田地区 294(ふくし)号」と愛称が決まる

12月 お披露目式(記者発表)区長の招待など取り決め

令和8年

1月 車両にラッピングデザイン・カラーを決める

2月 補助金交付の申請

3月 納車予定  
25日お披露目式予定

4月 1日(水)出発式予定